



MATSUE CITY COUNCIL
NEWS LETTER

市議会

だより



道の駅秋鹿なぎさ公園



本宮山から早朝の雲海を望む



花と鳥の楽園松江フォーゲルパーク



夕日に映える烏帽子岩

海・山・湖に囲まれた 秋鹿 自然と暮らす町 大野

秋鹿地区・大野地区は、島根半島のほぼ中央にあって、松江市の西に位置し、北は日本海、南は宍道湖に面しています。

秋鹿なぎさ公園は、宍道湖に面しているという好立地を利用してヨットやカヌーといった水上レジャーが手軽に楽しめます。

本宮山からは、出雲平野から宍道湖・中海を見渡すことができ、早朝の雲海を望むことが出来ます。

松江フォーゲルパークは、世界でもめずらしい花と鳥の公園です。花の展示室は、年中満開の数種類のペゴニア、フクシアを楽しむことができ、鳥の温室をはじめ園内の各所でたくさんの鳥たちとも出会えます。

魚瀬町沖の烏帽子岩は、波の浸食でできた岩で、日本海に沈む夕日は絶景です。

平成の
松江風土記 13



6月定例会

平成28年6月15日～7月4日

インドIT人材活用・企業誘致調査事業費 などの一般会計補正予算を可決

平成28年度補正予算並びに議案等

6月定例会では、総額4,216万円の平成28年度一般会計補正予算1件、条例案件16件、一般案件7件など議案24件や承認案件11件（平成27年度補正予算の専決処分など）、人事案件1件を審議し、全て原案可決・承認・同意しました。

また、議会からは議員提出案件3件を提案、審議し全て原案可決しました。

平成28年度一般会計補正予算は、「食と観光コミュニティビジネス創生事業費」800万円、「インドIT人

材活用・企業誘致調査事業費」2,000万円、「松江市IT開業支援事業費補助金」170万円、「武家屋敷管理運営費」213万円、「障がい差別のない共生社会推進事業費」170万円、「野波診療所運営費」863万円を予算委員会において審査の上、本会議で可決しました。

一般質問では、16人の議員が熊本地震に関連した松江市の災害対策、松江市の観光戦略、地方版総合戦略、若者の定住対策などについて市長及び執行部の見解を問いました。

条例の制定・改正（主なもの）

松江市ふるさとづくり寄附条例の一部改正について

国宝松江城天守及び史跡松江城内の整備並びに歴史的建造物の保全継承の事業に用途指定された寄附金については、新設する松江市歴史まちづくり基金へ積立てを行うこと及び地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の導入などに向けた見直しに伴い改正するもの。

松江市障がいのある人もない人も共に住みよいまちづくり条例の制定について

「障害者権利条約」の批准及び「障害者差別解消法」の制定を踏まえ、障がいを理由とする差別の解消を、より実効性のあるものとするともに、障がいの相互理解を推進し、「住みよい共生社会の実現」を図ることを目的に制定するもの。

松江市工場立地法地域準則条例の制定について

第2次地域主権改革一括法による工場立地法の一部改正により、緑地面積等に関して国が定める準則に替えて条例で基準を定めることが出来ることとされたことにより、松江市独自の基準を定めた条例を制定するもの。

松江市茶道文化施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

松江市茶道文化施設（明々庵及び赤山茶道会館）の指定管理に利用料金制を導入するために改正するもの。

松江市歴史まちづくり基金条例の制定について

国宝松江城天守及び史跡松江城内の整備並びに歴史的建造物の保存継承の事業に要する経費に充てる基金を設置するための条例を制定するもの。



〈松江市立野波診療所を開設〉



審議に先立ち、熊本地震で犠牲になられた方々の冥福をお祈りし、一日も早い復興を願って、議員全員で黙とうをささげました。

6月定例会 一般質問

6月定例会では、6月20日から6月22日までの3日間にわたり一般質問を行いました。

質問をした議員本人が通告した項目の中から一つ選び、要旨をまとめたものを掲載しています。

会派代表質問



もりわき けんじ
森脇 健児

(松政クラブ)

- ・ 松江市の防災対策について
- ・ 林地開発における制度作り
- ・ 消費税10%の延期による影響
- ・ 投票所の状況について
- ・ **中海振興の今後の見通しについて**
- ・ 山陰新幹線について
- ・ ひとり親家庭の支援や子どもの貧困対策について

質問 水上飛行機により地域の活性化を

「せとうちSEAPLANES」の運航する水上飛行機事業の試験飛行の結果を伺う。可能性のある事業であり、まさしく地方創生事業である。漁業振興・水上スポーツ・水上飛行機の運航・豊かな自然環境など多くのポテンシャルを有効に使い、今こそ中海振興によりこの地域の活性化を図るべきと考えるが市長の見解を伺う。

近隣住民のご理解を得ながら

回答 運航へ結びつきたい

親会社のせとうちホールディングスは年商3千億円、国内第5位の常石造船(株)のグループ企業。水上飛行機事業は全国でもトップランナーとなる取り組みであり、地方創生の視点から大きな期待をしている。試験飛行では騒音は通行する大型トラック並みであったが、今後も調査が必要。情報共有に努め、近隣住民のご理解を得ながら、運航へ結びつくように取り組んでいきたい。

会派代表質問



きたに まい
貴谷 麻以

(真政クラブ)

- ・ 防災強化について
- ・ 国内外の観光戦略とその波及効果を高める戦略、産業振興
- ・ **松江の未来を支える教育や、子育て支援**
- ・ 各世代への福祉・生活対策

質問 市長の教育現場視察の感想を伺う

多くの学校では先生の多忙感で管理教育になり、子どもたちに自分で考えてやらせてみる余裕や機会がない。問題のない子などいない。先生、子どもたち、保護者の方、そして地域への環境支援が必要だ。市長の現場視察の感想を伺う。

保護者・地域・学校の本音ベースの

回答 話し合いへの支援も必要

教育委員会だけではなく市長部局も総力を挙げて支援していかなければならないと思っている。先生への物理的・精神的支援も必要。そして習熟度別学級などについても、保護者・地域・学校の皆さんが本音ベースで話し合いができるように側面支援する必要がある。本市の教育を巡っては学力向上、不登校、いじめ、メディア対策など諸課題が山積している。教員の業務改善もタスクフォースを設置して作業中である。

会派代表質問



ひら ゆきお
比良 幸男

(松政クラブ)

- ・ 東京都知事の公費私的流用
- ・ 市長施政方針について
- ・ **観光協会の民営化スタイル移行について**
- ・ 企業誘致促進について
- ・ 次世代交通体系について

質問 丁寧な説明を望むが見解を伺う

民間はどのような参加をしていき、今までの観光協会の会員や地区観光協会はどうなるのか、収入源はどうなるのか、これから検討していく内容と思うが、観光協会の会員は了解しているのか、もっと丁寧な説明が必要と思うが、見解を伺う。

回答 検討会議の中で具体的な議論をしていく

7月に関係者の皆さま方に参画していただき、検討会議を立ち上げ意見を伺いながら進めていきたい。その中で財源や支部の問題等具体的な議論をしていきたい。観光協会の見直しのポイントは、行政との役割分担や継続性という点に問題があった。昨年の検討委員会での提言もあり、自立性や独自性を高めるが、市のガバナンスも確保していく必要があり、どういう形で確保し運営していく必要があるのかが議論の焦点になると思う。

会派代表質問



はた お こうせい
畑尾 幸生

(市民クラブ)

- ・ 熊本地震について
- ・ 地方総合戦略
- ・ 総合戦略と農業政策
- ・ 原発について
- ・ 島根原発1号機の廃止措置計画
- ・ **教育問題(スポーツ関係)**
- ・ 地域公共交通問題
- ・ 高速道路等の安全対策

質問 スポーツ活動について方針を定めよ

昨年、実施されたスポーツ活動に関する市教委の小4～6年生のアンケート調査結果では、練習や試合で疲れているという回答が、よくある27.2%、時々ある32.3%となっている。子どもとスポーツについて、知育・徳育・体育のバランスの良い成長のため、市教委で基本的な方針を定めてはどうか。また中高校生の部活では教員の負担の軽減が必要。外部講師の導入や小・中ごとに、日数、時間制限を設けてはどうか。

回答 ガイドラインを作成、活用したい

子どもがスポーツ活動に疲れ、家庭や学校の学習に影響を及ぼしていると認識しており、ガイドライン「スポーツ活動の手引き」を今年中に作成したい。文科省では部活動指導員の配置について提言を行う予定であり、その十分な配置について国、県に要望する。練習日、休養日の徹底などガイドラインで具体的に定めたい。



は せ がわしゅうじ
長谷川修二

会派代表質問
(公明クラブ)

- ・防災安全対策について
- ・住民の暮らしと町内会・自治会に関して
- ・公共施設適正化と市役所の建て替え問題について
- ・若者の定住化問題について
- ・小中一貫教育について
- ・介護保険について

非常時を想定した避難訓練の

質問 実施について伺う

これまでの想定を超える非常時を想定した避難訓練を、国・県・市・民間企業・教育機関・市民の皆さんの協力を得て実施してはいかがか。また、シミュレーションをして啓発してはいかがか。

国・県・関係機関と連携し、

回答 多様な訓練方法を研究・検討する

今後国や県を初めとした関係機関とも連携して、多様な訓練方法について研究する。また、図上訓練により災害対応のイメージを訓練したり、自主防災組織のリーダー研修等においても図上訓練を実施しており、今後地域の防災訓練に生かせるよう検討する。



の のうち まこと
野々内 誠

(松政クラブ)

- ・地域包括ケアの環境整備について
- ・「暮らしやすさ日本一」の発想を地方創生に
- ・市庁舎建設への市民意見の聴取について
- ・観光振興におけるおもてなしについて
- ・松江市北公園の再整備について

質問 身近なネットワークの確立が必要

地域包括ケアの環境整備は地域の人的資源の確保や協力が欠かせない。地域の公民館からの支援・調整や町内会組織、身近な隣近所のネットワークが確立していなければ支えることはできない。また、介護保険事業という狭い分野ではなく、全庁的な取り組みが必要だと考えるが、本市としてどのように考えているのか伺う。

回答 支え合いの体制を推進していく

本市では地区社協や自治会、民生児童委員の皆さんを中心に、地域福祉活動に取り組んでいただいております。地域ネットワークの下地が既にできていると認識している。昨年から配置した生活支援コーディネーターの各地域の実態把握による地域課題については、今後設置する地域レベルの第2層の協議体で検討するとともに、支え合いの体制を推進していきたい。市役所各部局でも、相互の連携をとっていきたい。



よし ぎ けい こ
吉儀 敬子

会派代表質問
(共産党議員団)

- ・参議院選挙で問われる政治課題と市長の政治姿勢
- ・松江市の経済循環策
- ・熊本地震の教訓と防災対策
- ・子どもの貧困対策

質問 憲法問題とアベノミクスについて

安倍総理は「在任中に憲法を改正する、改正内容は自民党改正草案がある」と言う。自民党案は、憲法9条2項を削除し「内閣総理大臣を最高指揮官とする国防軍を保持する」と、まさに戦争できる国に仕立てる憲法であり、地方自治の観点からも反対の声を上げるべきではないか。アベノミクスの更なる推進でなく、大企業や富裕層から公平に税金を徴収すれば、消費税増税は必要ない。TPPは地域経済を掘り崩すものではないか。

憲法問題は政党間で議論を、

回答 消費税増税は必要、TPPは丁寧な説明を

この草案は、まだ政党の草案であり、政党間の議論を見ていきたい。アベノミクスの中の消費税増税は、社会保障充実に必要であり、増税は中止すべきではない。TPPは、国の責任において国民に丁寧に説明し、不安や懸念の払拭が必要である。



やなぎはら おさむ
柳原 治

(松政クラブ)

- ・がんセンターについて
- ・松江北道路計画について
- ・子育て環境の整備について

質問 松江北道路について市長の見解を聞く

松江北道路計画策定には、住民の意見を踏まえるPI方式を取り入れていることもあり、住民の意見をしっかりと聞いて進めていただきたいと考えるが、改めて市長の見解を伺う。

県には古江案を理解して、一日も早い

回答 着手をお願いしたいと思っている

売れ残っている古江の工業団地の活性化、地域振興を考える上において、できるだけ北道路を延ばすことが大事だというのは古江の皆様と同じで古江案を支持し県にお願いした。古江案を採択するうえで、採択の仕方に関係があったという指摘もあり、感情的な面もいろいろあるのは事実。しかし、地元も松江としても、できるだけ西側へ延ばす古江案をぜひともお願いしていきたいし、県にもご理解いただいて、一日も早い着手をお願いしたいと思っている。



かわし ま つ ま さ
川島 光雅

(真政クラブ)

- ・ 少子高齢化対策と消費税増税延期
- ・ 木造住宅の耐震診断と改修助成
- ・ 指定管理団体の人事体制
- ・ W i - F i 等のインフラの整備
- ・ 土地改良事業
- ・ **ICTを取り入れた学校教育**
- ・ 買い物支援事業

質問 情報技術の利活用教育を取り入れた学校教育で新たな時代に生きる力を

佐賀県武雄市では小・中学生全員にタブレットを導入し、授業でコミュニケーション力や発言力が増え、学習に意欲や問題解決力が現れてきた。また各科目の落第率や校則違反が改善し、生活や仕事、社会システムの中で情報技術は必要不可欠なものになっている今日、ICT教育に力を入れるべきではないか。



回答 先行他市の状況等を見ながら、今後引き続き検討したい

現在、書画カメラ、プロジェクター、簡易スクリーン の3点セットの計画的な導入を進めている。ICTの導入については中学校図書館にタブレットを2台ずつ設置して無線LANを整備している。タブレット授業への導入は利用コンテンツ開発、安定的財源の確保、支援員の配置等課題もあり今後検討したい。



た な か あ き こ
田中 明子

(公明クラブ)

- ・ 教育環境の整備
- ・ **食品ロス**
- ・ 犬猫殺処分
- ・ 救急外来、軽自動車の救急車
- ・ 女性の健康を守る施策
- ・ 松江総合運動公園再整備

質問 「残さず食べよう！ 30・10運動」の推奨を

松本市では、宴会での食べ残しを減らすために、乾杯後の30分とお開き前の10分はお酒を注いで回らず自席で食事を楽しむ「残さず食べよう！ 30・10運動」を6年前から市長の提案で進められ、市役所から企業に広まってきているが、松江市でも推奨されてはどうか。

回答 食品ロス削減に向けホームページで紹介

本市としても、このような運動は、食品ロス削減、ひいてはごみの減量化に向けて有効な手段と思っているので、市民や事業所にホームページなどで紹介し、一緒になって実践していきたい。



つ も り り ょ う じ
津森 良治

(市民クラブ)

- ・ ひとり親家庭（世帯）の支援について（釧路市を視察して）
- ・ **地域医療について（知床らうす国民健康保険診療所への看護師研修派遣事業の視察を通して）**
- ・ 久見竹島歴史館を視察して
- ・ 女性の活躍推進について

質問 今後の地域医療体制（拠点）の継続への取り組みについて伺う

今議会で地域医療を担っていた野波診療所において、医師の撤退による閉鎖、そして無医地区が存在する危機が表面化した。今後も、過疎高齢化の進展や医師の確保の難しさなどは続くものとする。地域医療体制の継続への取り組みについて伺う。

回答 関係機関と連携、地域の状況を総合的に勘案し、検討していく

野波診療所については、無医地区が生じるおそれとなったことから、応急的に松江市直営として診療所を開設することにした。今後、地域医療をどのように確保していくかについて、市立病院や医師会等、関係機関と連携し、地域の地理的条件や交通事情など様々な状況を総合的に勘案し、検討していく。



か た よ せ な お ゆ き
片寄 直行

(共産党議員団)

- ・ 原発問題
- ・ **同和問題**
- ・ 国保問題



質問 「部落差別」解消法、必要か疑問

部落差別の解消の推進に関する法律案が自民、公明、民進党によって国会に上程された。今、なぜ部落差別に特化した永久法が必要なのか疑問だらけ。2002年3月末に同和特別法が終結したが、一般対策に移行した理由は何か。松江市内の同和会が今年度末をもって解散すると聞いているが、認識はどうか。

回答 特別対策は本来時限的なもの

①特別対策は本来時限的なものであり、これまで事業実施によって同和地区を取り巻く状況は大きく変化したこと、②特別対策をなお続けていくことは差別解消に必ずしも有効ではないこと、③人口移動が激しい状況の中で同和地区、同和関係者に対象を限定した施策を続けることは実務上困難であること。松江市内の同和会の支部からは「差別意識もかなり改善されてきたことを踏まえ、発展的に解散を検討している」と聞いている。



たくの けんじ
宅野 賢治 (友愛クラブ)

- ・松江市の防災対策
- ・松江市の今後の教育行政



質問 市内の学校は「義務教育学校」の導入の可能性はあるのか

小中一貫教育の取り組み展開を進め効果が上っていると思うが、市内の学校が法律で定められた正式な学校である「義務教育学校」の導入の可能性について調査研究をしてみることも必要ではないか。

回答 市内学校について、移行の可能性は大きいと考える

松江市内の学校について、「義務教育学校」への移行の可能性は大きいと考えている。今後、施設一体型である八束学園をはじめ、施設隣接型の小中学校についても義務教育学校への移行の可能性について調査研究したい。
※義務教育学校とは（学校教育法の改正により新設）
小学校課程から中学校課程までの義務教育を一貫して行う学校。



あしはら やすえ
芦原 康江 (無会派)

- ・島根原発の安全性について
- ・熊本地震に学び、原子力防災及び避難計画の見直しを求める
- ・災害時における避難所運営に関する女性の参画について
- ・障がいのある人もない人も共に住みよいまちづくり条例について
- ・子どもの権利条例に関する検討は

質問 災害時避難所運営の男女共同参画は日常の取り組みが必要ではないか

災害時における避難所運営を男女共同参画で行うには、日常の取り組みなしには実現しない。災害後に多様な住民が暮らす元のまちに復興させるためには、多様な住民の参画が欠かせない。各地域ごとに研修などを通して男女共同参画の必要性を理解していただけるよう、積極的な働きかけを行うべきではないか。

回答 避難所運営に関する啓発活動を実施

災害時の混乱した状況の中で多様な視点を持つて的確に対処するためには、日ごろから多様な視点を持って行動することが必要と考えている。市としては、男女共同参画センターなどにより、自治会や公民館などで出前講座を開催している。今後も、多様な視点からの避難所運営に関するワークショップなどの啓発活動を地域や団体に出向いて実施していきたいと考えている。



にい い まさただ
新井 昌禎 (友愛クラブ)

- ・地元企業の新入社員等人材確保策について
- ・急速に進む技術開発の方向性とその利活用・規制の在り方について
- ・食品ロス削減に向けた取り組みについて

質問 売り手市場の中で、地元企業の採用計画・実態をどう把握しているのか

有効求人倍率が1倍を超える売り手市場の中、地元企業、特に中小企業においては、新卒者が十分に確保できないといった問題が発生しているのではないかと危惧している。行政として、地元企業の採用計画と採用実態をどのように把握しているのか、また、支援策を何う。

回答 企業における若者の採用意欲は高いが十分な採用ができていない

平成28年3月末にハローワークが受け付けした市内の高卒、大卒等の採用計画と採用実績について、学校の種別ごとにみるとかなり大きな開きがある。企業における若者の採用意欲は高いものの、十分な採用ができていない状態があると認識している。本年度から、人手不足の業種の中でも、人材の確保が難しい介護業、建設業、情報サービス産業を対象として助成制度を設けている。



たちばな よしお
橘 祥朗 (共産党議員団)

- ・中海水上飛行機問題
- ・北海道問題
- ・耐震診断、改修助成制度の充実を
- ・旧柳多邸問題

質問 影響調査と中海地域の総合的振興を

1日2回だけの試験飛行では、十分な騒音や環境への調査は出来ない。今後の試験飛行の予定、またラムサール条約の場所なので生態系など調査を求める。自治会の役員も4月に交代している、地元住民への説明会は、地域振興に期待というが地元にどのようなメリットがあるか、堤防開削や漁業振興など具体的な施策を求める声強い。中海についてのシンポジウム開催を求める。

回答 試験飛行を続行し地元への理解求める

事業に期待しているが、試験飛行の結果を漁業者など関係者に説明中。一日の飛行で課題が解決したとは考えていない。今後も試験飛行を実施し、地域住民の皆さんへ丁寧な説明に努め、理解と協力を得るよう取り組む。
今年8月米子市を会場にラムサールシンポが開催される。中海・宍道湖のワイズユース（かしこい活用）について市民と理解を深め、中海の振興を図りたい。

議会でもタブレットを活用します

松江市議会では、議員に対し、議案などを書類配布に併せ、タブレット(情報端末機)の活用による電子データでの配信を6月議会から始めました。

議会運営委員会では、かねてから検討していたタブレットの導入を決め、3月末に「情報端末機活用研究会」を各会派からの7議員で設置しました。この研究会では、利用環境や活用方法などの研究を深め、全議員を対象とした研修会も開催しました。

電子データを活用して場所を選ばず、議案などが閲覧できるようになりました。将来はペーパーレス化を進め、効率化やコスト削減を目指しますが、当面は各議員がタブレットによるデータ活用に慣れることが課題です。



〈議員を対象とした研修会を開催〉

山本議長が中国市議会議長会会長に

中国地方5県内54市の議長で組織する中国市議会議長会の第138回となる定期総会が、4月26日に松江市で開催されました。

関係者約160人が出席した定期総会では役員改選があり、山本勝太郎松江市議会議長が新会長に選出されました。任期は1年、中国地方の市議会議長会運営の舵取りを担います。



〈総会にてあいさつをする山本議長〉

予算委員会を常任委員会化しました

これまで当初予算の審査は、2月定例会において「予算特別委員会」を設置し、常任委員会ごとに分科会を設け、それぞれに付託して行っていましたが、1年間を通して予算審査ができるように、議長をのぞく全議員を委員とした「予算委員会」を常任委員会として設置しました。

●議員提出議案

件 名		結 果
議員提出議案第3号	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書について	原案可決（全員）
議員提出議案第4号	地方法人課税の見直しに関する意見書について	原案可決（賛成多数）
議員提出議案第5号	政府関係機関の地方移転の実現による地方創生の一層の推進を求める意見書について	原案可決（賛成多数）

●陳情の審査結果

件 名		提 出 者	結 果
陳情第28号	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求めることについて	軽度外傷性脳損傷仲間の会 代表 藤本 久美子	不採択
陳情第32号	保育士の処遇改善並びに職員配置基準の引き上げの緊急対応と財源確保を求めることについて	しまね保育連絡会 会長 森山 幸朗	不採択
陳情第33号	性的指向および性自認等による差別等の困難の解消および支援のための法律の早期制定を国及び関係省庁に求める意見書の提出について	のりこえねっと紫の風 代表 上田 地優	—※
陳情第34号	橋北地域の定住につながるまちづくりの方針の策定について	松江市川津地区自治連合会 会長 久保田 明雄 外6団体	—※

※ 閉会中に引き続き審査を行うことに決定しました。

近年竣工した市庁舎等を視察

平成28年5月23日～25日

総務委員会 委員長 吉 金 隆

山梨県甲府市『新庁舎建設について』

長野県長野市『新庁舎建設について』

石川県金沢市『市民協働の取り組みについて』

松江市役所庁舎は、築後50年以上を経過し、老朽化が進行しており、また、複数の建物からなるため市民の利便性も低下しています。そして、大規模改修は建て替えに比べて割高になるという報告が出ています。

総務委員会では、来るべき新庁舎建設に向けて、近年竣工した市庁舎を視察してまいりました。甲府市役所は、市民サービスを最優先され窓口業務が2フロアにまとめられていました。長野市役所は、景観や環境、ユニバーサルデザインに配慮がなされていました。ともに免震構造で、甲府市役所はその様子がうかがえる地下室もありました。



長野市新庁舎での窓口サービスについて説明を聞く

同市は、人口規模も類似しており、しっかりとした建築コンセプトや市民意見の反映を丁寧になされ、松江市の望むべき新しい庁舎をイメージできる視察となりました。高層化により来庁者の動線を短くできますが、松江市の場合、現在地では高さに限界があるため、研究が求められると感じました。

姉妹都市愛知県大口町の企業支援施策を視察

平成28年5月24日～26日

経済委員会 委員長 川 島 光 雅

和 歌 山 県『わかやまジビエプロモーション事業等について』

愛知県春日井市『公民連携による移動販売事業について』

愛知県大口町『企業立地促進、中小企業支援事業について』

大口町は松江市と比べ、人口は1/11、面積は1/5であり、人口密度は松江市の356人/㎢に対し1,694人/㎢とコンパクトな町です。名古屋市から直線で18km程で、工場立地が進み、町内の938事業所の内、約22%の206事業所が製造業、全従業員の約55%が製造業に従事しています。

昭和30年代に企業誘致を進め、昭和56年からは普通交付税の不交付団体に認定、その要因の多くは企業誘致による人口の増加などで町民税収入などの自主財源に余裕が

生じているためであります。中京圏にある町の立地条件を利して、企業立地のため再投資促進補助、促進事業奨励金（人材育成・特許等出願・販路拡大・経営等相談の支援事業）などハード面だけでなく中小企業のソフト面でも後押しする効果が現れていました。

また工場の緑地面積等の緩和も実施され、松江市も6月議会で条例を議決しており、今後の誘致活動に期待を寄せています。



誘致された工作機械メーカー、ヤマザキマザック(株)を視察

議会改革の取り組みについて

平成28年5月10日～12日

議会運営委員会 委員長 三 島 良 信

千葉県流山市『議会運営におけるICT化の取り組みについて』

東京都町田市『議員のグループウェア導入について』

兵庫県神戸市『2会期制への移行について』

当委員会では、各市議会の議会改革の取り組みについて視察を行いました。

流山市議会では議会のオープン化（透明、参加、協働）



町田市議会で電子表決システムを視察

に向け「流山市議会ICT推進基本計画」を策定し、会議のインターネット公開や、最近ではツイッターによるリア

地域医療やひとり親家庭の支援について視察

平成28年5月16日～18日

教育民生委員会 委員長 津 森 良 治

北海道羅臼町『地域医療連携について』

『医療と介護の連携について』

北海道釧路市『ひとり親家庭の相談支援について』

北海道羅臼町にある知床らうす国民健康保険診療所は、民間の医療法人が指定管理により運営しており、道東地域の病院等と連携しながら安定的な医療・介護サービスの提供が行われています。一時は医療崩壊の危機にあった町立病院を現状のように立て直すことができたのは、まさしく行政と住民の協働のたまものです。今後、各自治体で地域包括ケアシステムの構築が進められますが、今回は良い手本を学ぶことができたと感じています。また、この診療所には松江市立病院の看護師が研修として派遣されており、貴重な経験を積んでいます。当日は本人に会い意見交換を



「知床らうす国民健康保険診療所」を視察

することができました。

釧路市は離婚率が平均より高く、ひとり親家庭への支援が充実しています。支援の内容を網羅したガイドブックが作成しており、就業や子育てに関するしっかりとした相談体制が構築されています。この取り組みは本市も見習うべきと感じました。

まちの景観と駅前周辺整備について視察

平成28年5月17日～19日

建設環境委員会 委員長 田 中 明 子

神奈川県鎌倉市『景観政策について』

静岡県熱海市『熱海駅前広場整備事業について』

静岡県沼津市『沼津駅周辺整備事業について』

視察初日は、鎌倉市の景観政策の取り組みを視察しました。平成7年に都市景観条例を制定し、市民との協働による景観づくりの仕組みを整え、建築物や屋外広告物のデザイン誘導を推進。平成19年には景観法に基づき景観計画を策定し、景観形成の基本理念や目標を定め、21に区分した市域ごとに景観形成の方針や基準をきめ細かく定め、建築行為や開発行為の景観誘導に努めておられます。市庁舎の屋上から鎌倉駅周辺を中心とした景色を眺めたとき、高さ15m以内に定められているのでマンションのような高い建物は1棟もなく、緑に覆われた実に美しい景観が

広がっていました。親子景観セミナーの開催など地道な取り組みにより市の魅力や景観づくりの啓発が市民に徹底されると感じました。

熱海市と沼津市では、松江市が今後実施しようとしている駅前整備事業について視察しました。様々な住民の声を丁寧に聞きながら進めることが大事と改めて実感しました。



鎌倉市で「まちなみ」を見ながら景観政策の現状を視察

ルタイム意見交換など市民参加による議会運営など新たな試みを行うほか、これまでの直接顔を合わせて意見交換する委員会単位の議会報告会も継続実施し、市民意見を政策に反映させるように心がけるなど、市民に開かれた信頼される議会の実現に取り組んでおられました。

町田市議会は「町田市議会の資産は、開かれた議会」を主眼に置き、議会改革を推進する全国でも評価の高い議会です。本会議傍聴者数も1日平均30名と市民の関心の高さが伺われます。平成23年1月から実施された議員のグループウェア導入では、紙資源削減、議員間の情報共有等、想定した成果が得られないことから、本年よりタブレット端末を導入し12月に本稼働を目指すとのことで、端末の

普及と操作性、活用方法が重要なポイントであることを感じました。

当市でも、本年6月議会から本会議場及び常任委員会室でのタブレット端末の使用を開始したところですが、今後の活用に向け参考になりました。

神戸市会では、これまで松江市議会と同じように年4回の定例会で審議を行ってきましたが、執行機関に対するチェック機能の強化や臨機応変な本会議開催が可能になることから、平成25年1月より年2回の定例会開催とする2会期制に移行されました。当委員会ではその検討経過と現在の運用状況、今後の取り組みについて伺いました。

● 自転車マナーアップを目指して

「春の全国交通安全運動」期間中、啓発活動の一環として、4月15日に自転車マナーアップの街頭指導が市内主要地点25か所において実施されました。松江市議会では、平成26年6月議会において、「松江市自転車安全利用条例」を制定しましたが、今年も、おもてなしの心を持って、安全に通行できるよう、各種団体、事業者の皆様とともに、自転車の交通ルールやマナー向上に向けた呼びかけを致しました。



〈穴道中前での街頭指導〉

● 姉妹都市提携を記念して 松江市と大口市で桜を植樹

松江開府の祖・堀尾吉晴の縁で、姉妹都市提携を結んだ松江市と愛知県大口市が、4月2日に松江城山公園、翌3日には、大口市の金助桜まつりに合わせ、堀尾跡公園において、記念の桜を植樹しました。桜は、松江市の「市木」で、大口市では「町花」になります。植樹式には、関係者ほか、両市町議会議員も参加し、より深い絆と、一層の交流促進を誓い合いました。



〈大口市での記念植樹〉

9月定例会日程

月	日	曜日	会 議 名
9	7	水	本会議(会期の決定、委員長報告・質疑、討論、採決、提案説明、決算特別委員会設置) 決算特別委員会(正副委員長互選)
	12	月	本会議(一般質問)
	13	火	本会議(一般質問)
	14	水	本会議(一般質問、議案質疑、委員会付託)
	15	木	決算特別委員会(質疑、分科会分担・委託)
	16	金	総務委員会・㊦総務分科会・㊧総務分科会 教育民生委員会・㊨教育民生分科会・㊩教育民生分科会
	20	火	総務委員会・㊦総務分科会・㊧総務分科会 教育民生委員会・㊨教育民生分科会・㊩教育民生分科会 建設環境委員会現地視察
	21	水	経済委員会・㊪経済分科会・㊫経済分科会 建設環境委員会・㊬建設環境分科会・㊭建設環境分科会
10	23	金	経済委員会・㊪経済分科会・㊫経済分科会 建設環境委員会・㊬建設環境分科会・㊭建設環境分科会
	28	水	決算特別委員会(分科会長報告・質疑、討論、採決) 予算委員会(分科会長報告・質疑、討論、採決)
10	3	月	本会議(委員長報告・質疑、討論、採決)

※㊦は予算委員会、㊧は決算特別委員会

議会事務局 TEL 55-5432

市議会は傍聴することができます

午前10時から開催します。また、午後も引き続き開催する場合は、休憩をはさみ、おおむね午後1時から再開します。議事の進行等により時間が前後する場合がありますので、詳しくは当日お問い合わせください。

編集後記

6月議会では、熊本地震に関連した一般質問が相次ぎました。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りし、被災された皆様にお見舞い申し上げます。

今議会においても、議員一同、市民の皆様の負託に応えるべく、丁寧な審議を行いました。

お伝えしたいことはたくさんありますが、限られた紙面の中で、その概要をできるだけわかりやすくお伝えしようと、編集委員一同、苦心しました。

この紙面がもっと期待に沿えるものに成長していくためにも、皆様からの忌憚のないご意見をお待ちしています。また、お時間がありましたら、議会の傍聴にもお出かけいただき、市政を身近に感じていただければと願っています。

議会広報等特別委員会委員 芦原 康江

皆様のご意見をお寄せください

いろいろなご意見をいただいております、ありがとうございます。ご意見については、委員会の場で検討させていただいております。

〒690-8540 松江市末次町86
議会広報等特別委員会(松江市議会事務局)
電 話 (0852)55-5433
ファックス (0852)55-5533
議会事務局メールアドレス
giji@city.matsue.lg.jp



ホームページアドレス
<http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/>